



とっとりで
保育の仕事に
つくための
ガイドブック



小さな支えが大きな安心
子育て王国 鳥取県

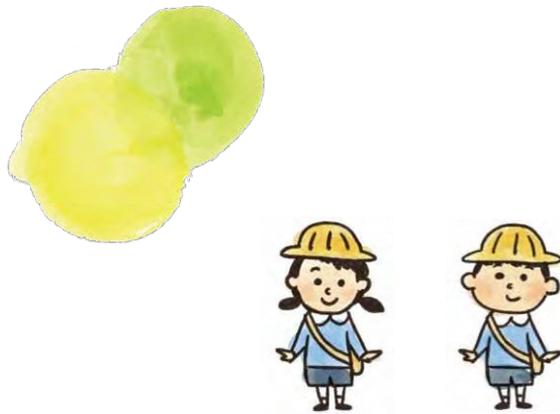
令和4年6月発行

はじめに

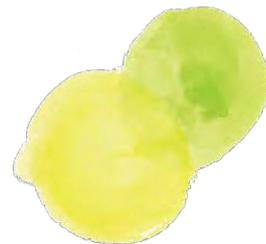
自然豊かなとっとりで、子どもたちの未来をつなげる
保育・幼児教育の仕事についてみませんか。

このガイドブックでは、資格・免許を取るためのプロセスや
働く環境などをまとめています。

このガイドブックが、あなたの夢や想いを実現させるための
サポートとなることを願っています。



“子育て王国とっとり”の主役は子どもです。





目 次

1.	保育者の活躍の場	3
2.	福祉の理念—ともに生きる—	6
3.	給与とキャリアアップ	7
4.	保育者になるためには	8
5.	とっどりの指定保育士養成校	9
6.	保育の現場で働く先輩たち	11
7.	保育者を目指す人の修学支援制度	13
8.	就職—就職後のサポート	14



1. 保育者の活躍の場

保育者（幼稚園・認定こども園・保育所等に勤務する幼稚園教諭・保育教諭・保育士の総称）の活躍が求められる場合は、子どもの年齢や規模（定員）などに応じて様々な施設があります。

施設の種類によって必要な資格・免許が異なりますが、保育士資格・幼稚園教諭免許の両方を取得することで、活躍の場が広がります。



施設区分	定員	対象児童		必要な資格・免許		県内施設数 (R4.4現在)
		年齢	保育の必要性	保育士	幼稚園教諭	
保育所	20人以上	0歳～	○	◎	○	134
認定こども園 ※	20人以上	0歳～	(定員設定による)	◎	◎	55
幼稚園	(制限なし)	3歳～	(不要)	○	◎	15
地域型保育	家庭的保育	5人以下	0～2歳	◎	—	1
	小規模保育	6～19人				32
	事業所内保育	20人以上				5

「必要な資格・免許」欄について ◎ 必ず必要 ○ 取得が望ましい

※幼保連携型以外の種類の施設では、必要な資格・免許の基準が異なります



保育の必要性とは？

保護者が就労や自らの病気、家族の介護などのため、家庭で子どもを保育できないこと（保育所などでの保育が必要な状態）を言います。



認定こども園について

■受け入れる子どもの年齢や保育の必要性は、各園で設定された定員によって異なります。

■認定こども園の保育者は「保育教諭」と呼ばれ、保育士資格と幼稚園教諭免許のいずれも取得することが求められます。



活躍の場は、その他にも様々な施設があります

児童養護施設・乳児院

児童養護施設は、保護者のない児童や保護者に監護させることが適当でない児童に対し、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、家庭環境の調整等を行いつつ養育を行い、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援する施設です。

乳児院は、保護者の養育を受けられない乳幼児を養育する施設です。乳幼児の基本的な養育機能に加え、被虐待児・病児・障がい児などに対応できる専門的養育機能を持ちます。

障がい児入所施設・障がい児通所支援事業所

障がいのある児童が入所・通所し、障がいの特性に合わせて発達を促し、生活する力を育てる施設です。



母子生活支援施設

18歳未満の子どもを養育している母子家庭など、生活上の問題を抱えた母親と子どもと一緒に入所して生活できる施設です。DVなどの被害者の一時保護も行っています。

さまざまな事情の母親と子どもに対して、生活の安定のための相談や援助を行いながら、自立を支援します。

病児・病後児保育施設

病気や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、病院・保育所などに付設されたスペースで預かります。

仕事と子育ての両立を支えるため、各地で整備が進められています。

上記は一例で、その他に児童自立支援施設、放課後児童クラブなど多様な場での活躍が期待されています。





とっりの特色ある保育

① 多様な子どもたちの保育

保育現場は、障がいのある子ども、発達気になる子ども、医療的ケアを必要とする子どもたちを含め、すべての子どもたちの豊かな学び・育ちの場となっています。鳥取県では、支援の必要な子どもの受け入れを積極的に行っています。



医療的ケア・医療的ケア児とは？

いわゆる「医療的ケア」とは、一般的に学校や在宅等で日常的に行われている、たんの吸引・経管栄養・気管切開部の衛生管理等の医療行為を指します。

「医療的ケア児」と言っても、寝たきりの状態の“重症心身障がい児”とよばれる子どももいれば、食事の時は経管栄養が必要だけど普段は走り回れる子どももいたり、個々の状態や医療的ケアの内容は様々です。

一人ひとり必要な支援は異なっており、それぞれの状態に合った活動の場が求められています。

医療的ケア児が利用している保育の場

- 障がい児通所支援事業所（児童発達支援事業所、医療型児童発達支援事業所 等）
- 地域の保育所 等

② 豊かな自然を活かした保育

鳥取県は森や山、海、川など自然に恵まれています。

その豊かな自然を活用した自然体験活動を行う保育所・幼稚園・認定こども園等の施設を県の独自基準に基づき認証し、その活動を支援することで、子どもたちの健全育成を図っています。

* 保育所、幼稚園等とっとり自然保育認証制度

保育所・幼稚園・認定こども園等が一定時間以上自然体験活動を実施している園を認証する制度です。R4年4月時点で35園認証しています。

* とっとり森・里山等自然保育認証制度

いわゆる「森のようちえん」と呼ばれる施設を認証する制度です。R4年4月時点で7施設認証しています。



2. 福祉の理念ーともに生きるー

福祉職としての保育者

3、4ページでご紹介した保育所、認定こども園、児童養護施設、障がい児入所施設などは「児童福祉施設」と呼ばれます。福祉職としての保育者を目指すにあたっては「福祉」について理解する必要があります。

「福祉」という言葉には「幸せ」という意味が込められています。「福祉」とは「ふだんの、くらしの、しあわせ」を実現していくことで、決して特別なことを行うことではありません。当たり前のこと、当たり前で保障されることが、福祉の果たす役割になります。「保育者」は、すべての人の幸せを応援する仕事と言えるでしょう。



日本の保育所の原点「農繁期託児所」

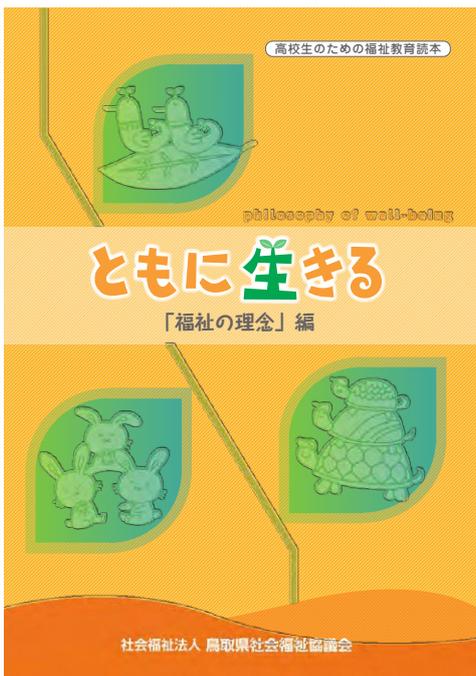


鳥取市下味野地区に残されている「保育事業発祥の地」の石碑

日本で農業が盛んだった頃、全国各地で「農繁期託児所」と呼ばれる子どもの保育施設が農村部に設けられていました。この農繁期託児所は、日本の保育施設つまり今でいう「保育所」の原点として理解されています。

鳥取県では1890年、現在の鳥取市下味野の地にしもあじの 寛 かけひゆうへい 雄平 (1842～1916年) が「下味野子供預かり所」を開設しました。これが、日本の保育事業（保育所）の発祥の地であるという見方もあります。

引用：鳥取県社会福祉協議会発行 高校生のための福祉教育読本「ともに生きる「福祉の理念」」



高校生のための福祉教育読本！

ともに生きる シリーズ

保育者を目指す方はぜひ一度は目を通していただきたい1冊です。

◀ 高校生版「福祉の理念」編

高校生版「ともに生きる」はこのほか、

- 「福祉の理解」編
- 「福祉の実践」編 があります。

中学生版、小学生版もあります。

いずれも鳥取県社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。

発行：社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会



3. 給与とキャリアアップ

保育職の給与は低いと一般的に言われていますが、年々改善され、都市部だけでなく鳥取県においても、他産業との差が縮小してきています。

保育の仕事は、人工知能やロボットに代えることのできない、今後も活躍が期待される仕事です。子どもの命を預かるため負担や責任も伴いますが、子どもの成長を日々間近で見ることができ、その子の今後の人生にも影響を与えるやりがいのある職業です。

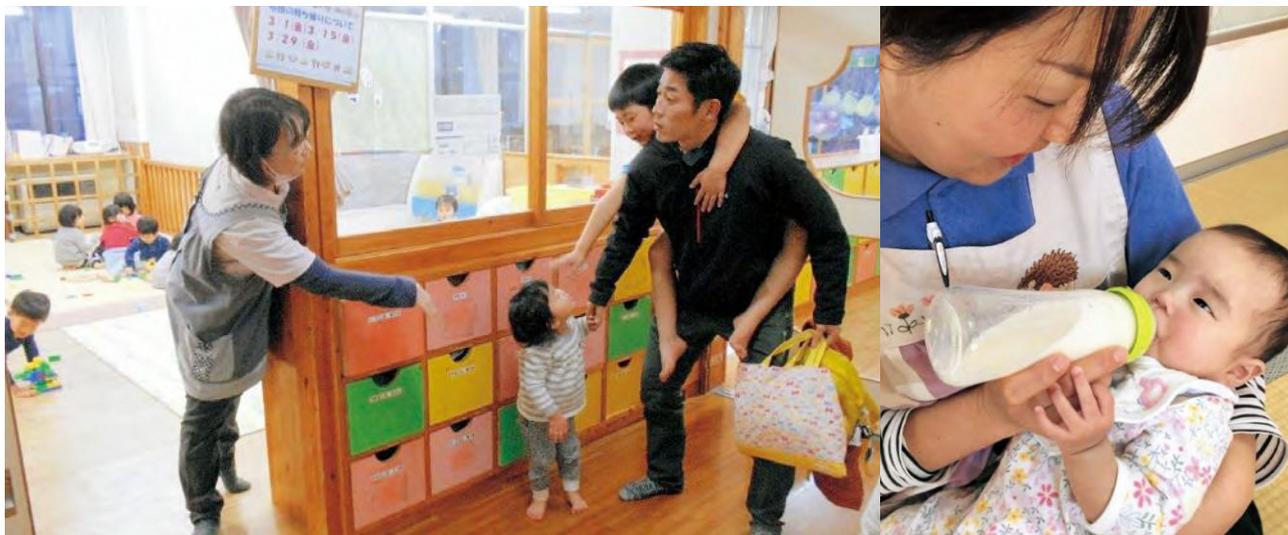
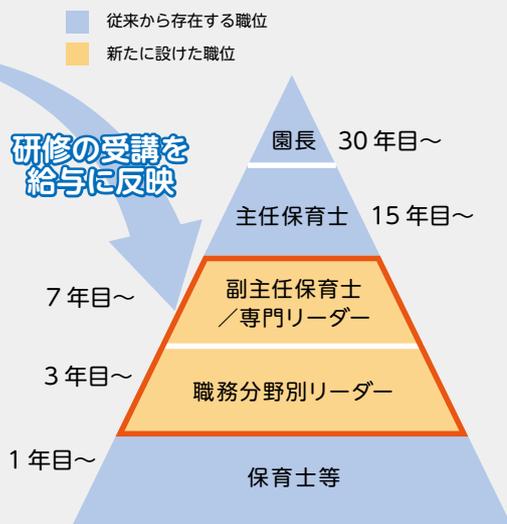
また、保育業務にやりがいをもって取り組んでもらえるよう、各施設でキャリアアップができる仕組みを構築しています。

研修により技能を習得することで、給与改善を行っています。

給与改善の推移



キャリアアップのイメージ（一例）



4. 保育者になるためには

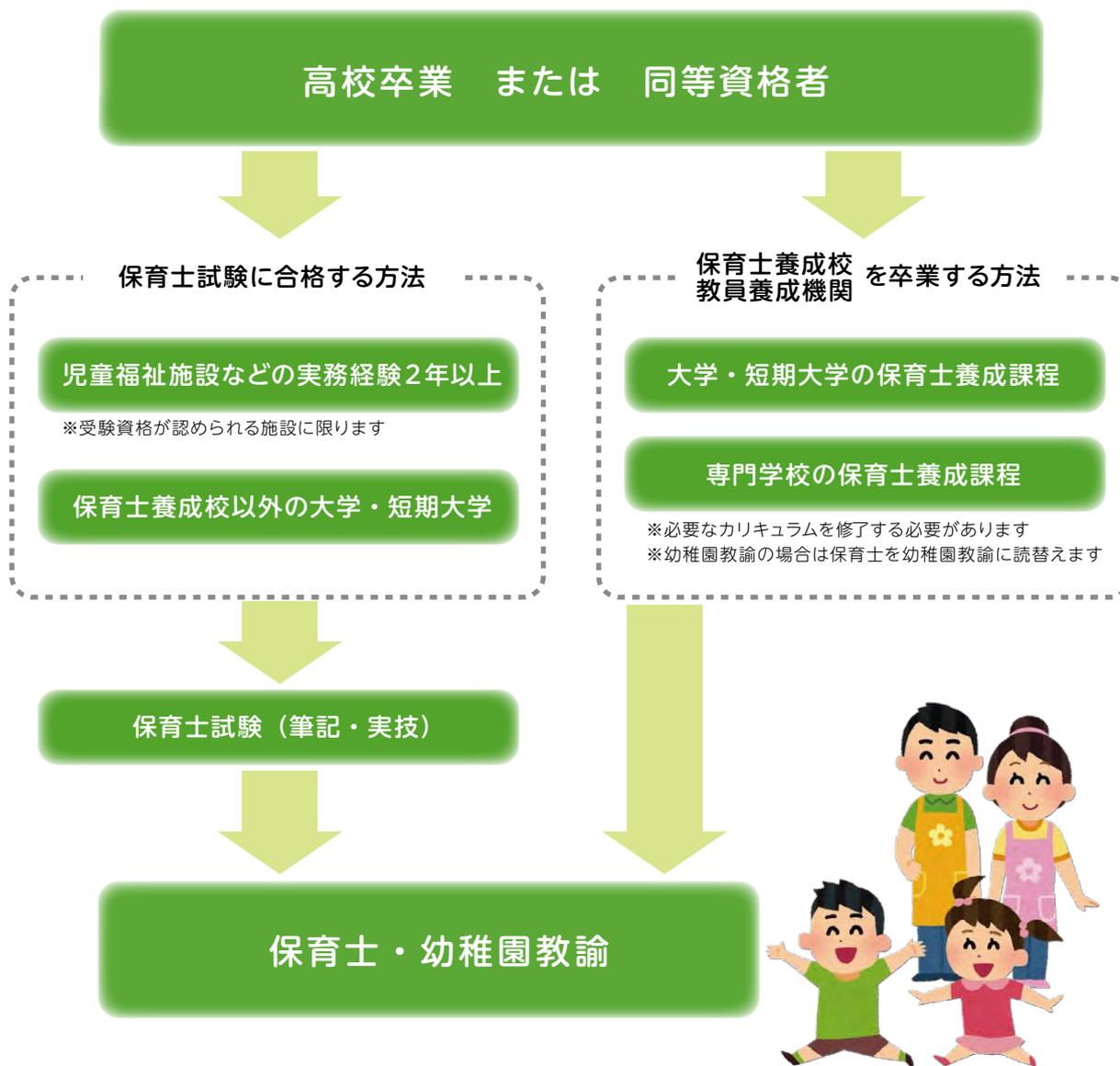
保育士・幼稚園教諭になるには、それぞれ保育士資格・幼稚園教諭免許を取得する必要があります。



保育士と幼稚園教諭の違いは？

近年、共働き家庭が増加したことで0～1歳児から保育所等に預けられる子どもが増え、従来3歳以上児が入園していた幼稚園においても、2歳児を対象とした保育が広がってきました。

また、保育所・幼稚園・認定こども園のそれぞれのあり方を示す「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂され、それぞれの指針・要領の整合性が図られました。従来に比べ、両者に求められる仕事内容はほとんど違いがなくなってきているといえます。



5. とっどりの指定保育士養成校

学校法人藤田学院 鳥取短期大学		幼児教育保育学科
倉吉市福庭854	Tel 0858-26-1811	https://www.cygnus.ac.jp/child/
2年制	入学定員：140人	幼稚園教諭免許取得：可



子どもたちの育ちを支え、人と地域社会に貢献する「保育者」をめざします

幼稚園・保育所そして認定こども園は、地域の子育て支援の中心です。そこで活躍する保育者には、子どもの発達を保障するため、教育・保育の理論にもとづく確かな実践を生み出すことが求められます。

また、保護者の思いや悩みに寄り添って、地域の人たちから信頼される専門職の役割を果たさなければなりません。そのために、思いやりとやさしさ、人を大切にする心を育みながら、広く豊かな視野と確かな専門性を身に付けます。



卒業生の声

清水 響

保育者は子どもの発育・発達の支援と同時に保護者に対する支援をする職業です。保育者になるためには、様々な知識・技術を身に付けるだけでなく、実際の現場で実習を重ね実践力を学ぶ必要があります。中学校・高校で習う授業内容とは大きく異なり、専門的な内容を深く学ぶことに入学当初は不安もありました。しかし、同じように保育者を目指す仲間とともに力を合わせて困難を乗り越えたり、先生方の丁寧なご指導もあり、楽しく充実した生活を送ることができています。就職に対する手厚い支援など大変なことがあっても諦めず頑張ることのできる環境が鳥取短期大学には整っているのでは是非一度、見学に来てみてください。



木下 蓮華

私は中学校の職場体験で、保育所に行きました。それがきっかけとなり、保育士になりたいという夢を持ちました。高校の時の進路学習において、鳥取短期大学では保育者になるために必要な専門知識を幅広く学べるだけでなく、「特別研究」という科目を通して、自分をもっと知りたいと思う内容を深く学ぶことが出来ることを知りました。また、地元就職が強いことにも魅力を感じて、この大学を選びました。実際に「特別研究」では、うたのおねえさんの研究と実践を行っています。最初はお互いの気持ちがいずれ違い、悩んだこともありましたが、今では同じ研究室のメンバーと一緒に楽しく活動しています。



渡邊 紗希

私は、幼い頃から保育者になりたいと思っていました。高校までに経験したインターンシップやボランティア体験では、保育現場で直接子どもと関わる機会を得ました。その際、保育者の業務内容を知ることができ、幼いころからの思いをより一層強くすることになりました。地元の鳥取短期大学で、保育について学ぶことができることを知り、大学のオープンキャンパスには複数回参加しました。実際に大学の様子を見たり、先輩の話や授業体験を受ける中で、その思いを強くすることができました。そして、自分が育ったこの地域で、保育者として働くことができたらと思い進学しました。



国立大学法人 鳥取大学		地域学部地域学科 人間形成コース幼児教育選修
鳥取市湖山町南4-101	Tel 0857-31-5073	http://www.rs.tottori-u.ac.jp/index.html
4年制	入学定員：10人	幼稚園教諭免許取得：可



地域における人づくりのキーパーソンを育成

子どもの社会的・文化的・心理的・医学的多様性と学習・発達との関係を学び、地域において、学習や発達に困難を抱える子ども達を含めたすべての子ども達の教育ニーズを満たすことのできる人材を養成します。

卒業後は、幼児教育や特別支援教育や保育士など、広く社会福祉分野の現場で活躍するとともに、政策づくりあるいはそれを推進する人材養成の場で地域の人づくりを支える役割を担うことが期待されます。



卒業生の声

新谷 みなみ

「大学生って自由！」本当にその通りで、今まで知らなかった世界に触れ、様々なことを感じ経験できる貴重でも楽しいことがたくさんあります。



鳥取大学の幼児教育選修は、同じコースの仲間や先生と協力しながら、保育について深く学ぶことができます。講義形式での知識面の学びはもちろん、保育所や児童養護施設、幼稚園での実習やボランティア活動、中・四国保育学生研究発表大会での劇発表などの課外活動といった実践の場も豊富で、現場で役立つ経験や考え方を得ることができます。“保育士”という仕事の難しさを感じると同時に、それ以上のやりがいを感じられ、楽しく充実した大学生活を送ることができます。「ここに来てよかった!!」と思える学び場です。

三村 優和

日々、同じ志をもつ学生と保育についての学びを深めています。実習などで子どもたちと関わる際、子どもの笑顔や成長を間近で見られる



ことが多く、とてもやりがいのある仕事だと改めて感じています。実習だけでなく、大学の講義などの学生のみでの活動の際、他の学生の多様な考え方に触れ、自らの保育観や子ども観の再認識につながるなど、みんなで切磋琢磨できる学科です。優しく、なんでも相談に乗ってくださる先生も沢山います。このような勉強の面だけでなく、遊びなどの私生活の面でも男女関係なく、とても仲良く充実した毎日を過ごしています。ぜひ、鳥取大学と一緒に保育士を目指しませんか。



檜垣 早苗

鳥取大学の幼児教育選修では、少人数で保育に関する学びを深めています。保育学生のための部屋があり、さまざまなおもちゃや、乳児保育のための道具、制作活動のための材料も数多くあります。中・四国保育学生研究発表大会での劇発表では、題材も自分たちで考え、衣装や大道具も自分たちで一から作りました。大変なことも多くありますが、本番に向けて子どもたちの前で劇を見せる時、子どもたちがとても楽しそうに見てくれたり、声をかけてくれたりする姿にやりがいを感じました。練習期間も、先輩や後輩、同期と真面目に構成について考え合う時間もありますが、毎日笑いが絶えず、新しい仲間の一面を見ることが出来ます。鳥取大学には保育のことに詳しい先生方もいれば、演劇に詳しい先生など、多くの専門をもつ先生方がいらっしやるので、学んでいてとても勉強になります。みなさんもぜひ、鳥取大学幼児教育選修と一緒に学んでみませんか。

6. 保育の現場で働く先輩たち



むつみ保育園（鳥取市）

上杉 瑠美



鳥取の豊かな自然は、 子ども達が自ら考え遊びきることのできる環境

私が保育士になろうと思ったきっかけは、大学生の時に経験したボランティア活動やアルバイトでした。当時、私は高知の大学で社会福祉の勉強をしており、将来は医療ソーシャルワーカーを目指していました。元々子どもが好きだったこともあり、子どもと関わるボランティア活動に積極的に参加したり、アルバイトをしていた飲食店で子どもと接する機会が沢山あったりして、徐々に「子どもに関わる仕事がしたい」と思うようになりました。

「子どもと関わる仕事」をイメージした時、幼い頃お世話になった保育園の先生方の顔が浮かびました。そこで大学を辞め、地元に戻って保育士資格を取得できる大学に入学しました。一大決心を理解して応援してくれた家族や友人には今も感謝の気持ちで一杯です。

現在は私も通っていた鳥取福祉会の保育園に勤務し、年長児の担任として充実した時間を過ごしています。私が働くわかば台保育園では、鳥取県が創設した「とっとり自然保育認証園」として地域の豊かな

自然環境を活かした自然体験活動を行っています。

子ども達は園舎近くの里山で四季折々移りゆく自然に触れ、五感を使って経験を重ねています。春は緑に囲まれた細い山道を歩き、わらびやよもぎ摘みを楽しみます。夏は沢で、サワガニやヤゴなど水辺の生き物を見つけます。秋は虫の声や鳥のさえずりを聞きながら、赤や黄色に色づいた葉っぱや木の実を集めます。心を揺さぶる体験をした子ども達は、それを自分たちで探究して、どんどんと世界を広げていきます。子どもの力はすごいです。子ども達の成長が喜びとなり、やりがいや楽しさを感じています。

自然の中で存分に遊んだ子ども達が鳥取の良さを知り、ふるさとを愛して誇れるように、私も幼い頃経験した遊びを沢山伝えていきたいと思います。鳥取の豊かな自然は、子ども達が自ら考え遊びることのできる環境。都会にはない素晴らしい環境で子どもたちはたくましく生きる力を培っています。皆さんもぜひ鳥取と一緒に保育をしてみませんか？



認定こども園あけぼの幼稚園（米子市）

竹下 結衣



保育士はたくさんの出会いがあり、 子どもと一緒に自分も大きく成長できる

小さい頃から将来の夢は保育士でした。園で過ごした楽しい思い出・素敵な先生は忘れられず、いつか私の過ごした園で先生として働きたいと思うようになりました。

自分の将来について真剣に考えた高校生の頃、進路相談をした担任の先生は共働きで子育てをされており、そばで子どもの成長が見られる楽しさと子育ての大変さを教えてもらいました。

「保育士は子どもが好きという思いだけでは続けられない仕事、大切な子どもの命を預かる仕事、働くことは簡単じゃない。」先生からの言葉は改めて保育士という仕事について考えるきっかけになり、保育士の偉大さを感じ、また漠然としていた夢を現実に行きたいと強く思いました。

大学進学をきっかけに新しい環境で多くの人と出会い、たくさんのことを学びたいと思い地元を離れました。慣れない場所での生活、なじみのない言葉…その時の私は自信がなく、とても不安でした。「地元に戻りたい」と何度も思い、涙した日もありました。しかし、保育士になりたいと同じ夢をもってい

る友だちの存在は大きく、一緒に支え合いながら日々過ごしました。

大学に4年間通い、保育士の資格を取るとともに出会いや楽しい思い出など得た物もたくさんあり、とても充実したものでした。しかし、就職は地元ですとずっと決めていました。生まれ育った場所、なじみのある方言、そして何よりも楽しかった園生活。安心できる落ち着いた場所で仕事がしたいと思い、地元に戻ってきました。

そして現在、小さいころ過ごした園に就職し、お世話になった先生と一緒に働き、たくさんの子どもに出会い充実した日々を送っています。仕事をしている中でつらいこと、悩んでいることはありますが、「自信をもって!」「大丈夫!」と言葉を掛けてくださる先輩方・同期などたくさんの人に助けられています。一人だけじゃない、周りに支えてくれる人がたくさんいるということを忘れずにしていきたいです。保育士はたくさんの出会いがあり、子どもと一緒に自分も大きく成長できる素敵な仕事です。

7. 保育者を目指す人の修学支援制度

修学資金制度

将来、県内で活躍する保育者を目指している方で、経済的理由により修学が困難な方に対して必要な資金を貸し付け、修学を支援しています。



① 鳥取県保育士等修学資金貸付（鳥取短期大学向け）

県内の高等学校の卒業生等で鳥取短期大学に進学し、保育者を目指す方に修学資金（入学支援資金 24万円、奨学金 72万円[2年分]）を貸し付けます。

※一定の所得制限があります。

※資格取得後6年以内に通算3年以上の県内保育施設勤務で返還が免除されます。

② 保育士修学資金貸付

県内の高等学校の卒業生等で、県内外の保育士養成施設に進学し、保育士を目指す方に修学資金（入学・就職準備金 各20万円、奨学金 120万円[2年分]）を貸し付けます。

※一定の所得制限があります。また、県内養成施設の場合は自宅外生に限ります。

※資格取得後5年以上、保育士として勤務した場合は返還が免除されます。

高等教育の修学支援新制度（高等教育無償化）

入学金・授業料の免除または減免、給付型奨学金の2つの支援があります。

支援を受けられる額は、世帯の収入や進学する学校の種類、自宅からの通学かどうかで異なります。（保育者に限定されません。原則返還不要です）

※修学資金制度（上記①・②）との併給はできません。

奨学金制度

大学、短期大学又は専修学校の専門課程に在学する方で、経済的理由により修学が困難な方に対して、奨学金を貸与します（保育者に限定されませんが、返還が必要です）。

奨学金を貸与された方向けの助成金制度

鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金

大学、短大、専門学校等を卒業し、県内で民間の保育士・幼稚園教諭として就職された方を対象に、奨学金の返還額の一部を助成します。

無利子奨学金：奨学金の返還総額の1/2

有利子奨学金：奨学金の利子を除く返還総額の1/4

※就職前に認定申請が必要です。



対象となる主な奨学金

鳥取県育英奨学資金（無利子）

貸与額…国公立：月額 45,000円、私立：月額 54,000円

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

学業成績と世帯収入の基準に応じ、**第一種奨学金（無利子）**と**第二種奨学金（有利子）**があります。

貸与額は学校種別、通学形態などにより異なります。（貸与月額：概ね2万円～6万4千円）

※鳥取県保育士等修学資金とは併用できません。

8. 就職－就職後のサポート

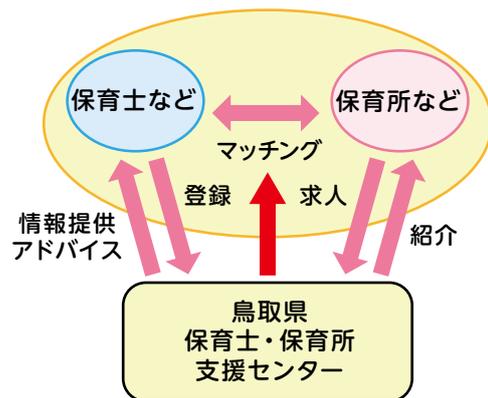
「鳥取県保育士・保育所支援センター」(以下センター)は、保育者として働きたい学生・一般の方の就職をきめ細かく支援しているほか、就職後の悩み事に対するメンタルサポートを実施し、保育者の定着を推進しています。相談や就職支援、セミナー等すべて無料でご利用いただけます。

就職支援

専任の就職支援コーディネーターが、個々の希望に沿った求人(仕事)を紹介します。また、求人票に掲載のない知りたい情報があれば、お調べします。

<支援メニュー>

- 就職に関する相談受付
- 求人(仕事)の紹介
- 見学・職場体験の調整・同行



就職後のサポート

保育のお悩み相談窓口

保育者として対人援助の仕事に携わることは不安や悩みがつきものです。同僚・友人や家族に話づらい悩み事がありましたらセンターまでお電話ください。専門家にお繋ぎすることもできます。

エルダー・メンター制度導入支援

保育園等に対し、新人・若手保育者が仕事に不安なく慣れるよう先輩がきめ細かく寄り添うメンタルサポート制度の導入支援を実施しています。

その他の取組

保育実習等旅費支援事業

県外の養成校に在学する学生が地元で実習などを実施する際に必要となる旅費を助成しています。

高校生を対象とした出前授業

県内の高等学校を巡回し、保育に関する動向や制度について情報提供しています。

情報紙「とりっぼ通信」の発行(年4回)

県内の保育に関する様々な情報を掲載しています。

ホームページ、Facebookでの情報発信

センターの活動状況やセミナー・イベント情報を発信しています。

求人情報サイト「福祉のお仕事」



福祉の仕事や職種、資格などについて調べたい時は
こちらをご覧ください。

福祉のお仕事



福祉のお仕事 検索 <https://www.fukushi-work.jp/>

すぐに就職したい方は……

求職登録①

センターの就職支援を受けるためには求職登録が必要です。「福祉のお仕事」サイトよりマイページを作成し、求職登録できます。

◆求職登録すると……

- ・毎月求人情報誌をお届けします。
- ・希望条件により求人をお探しします。
- ・見学同行や面接等の日程調整を行います。
- ・求人の申込時には紹介状を発行します。

すぐではないけどいずれ就職したい、
情報提供を希望する方は……

届出登録②

保育士資格をお持ちの方で、離職された方や保育の仕事に興味のある方は、届出登録ができます。登録により保育に関する情報を受け取ることができます。

求人検索 🔍

保育の求人情報を検索できます。
希望の職種や勤務形態、勤務地などを絞って検索できます。

センターへのアクセス

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5 県立福祉人材研修センター内
TEL 0857-59-6342 FAX 0857-59-6341

✉ hoikucenter@tottori-wel.or.jp

利用時間／月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土・日・祝日・年末年始は除く)

担当者が不在の場合もありますので、
来所の際は事前にご連絡ください。



HP▶



FB▶



小さな支えが大きな安心
子育て王国 鳥取県

発行：鳥取県子育て・人材局子育て王国課
鳥取県鳥取市東町1丁目220番地
TEL 0857-26-7570 / FAX 0857-26-7863